

2016年12月期 第1四半期決算

アプリックス I Pホールディングス株式会社
2016年5月12日



2016年12月期第1四半期決算実績

2016年12月期第1四半期 P/L



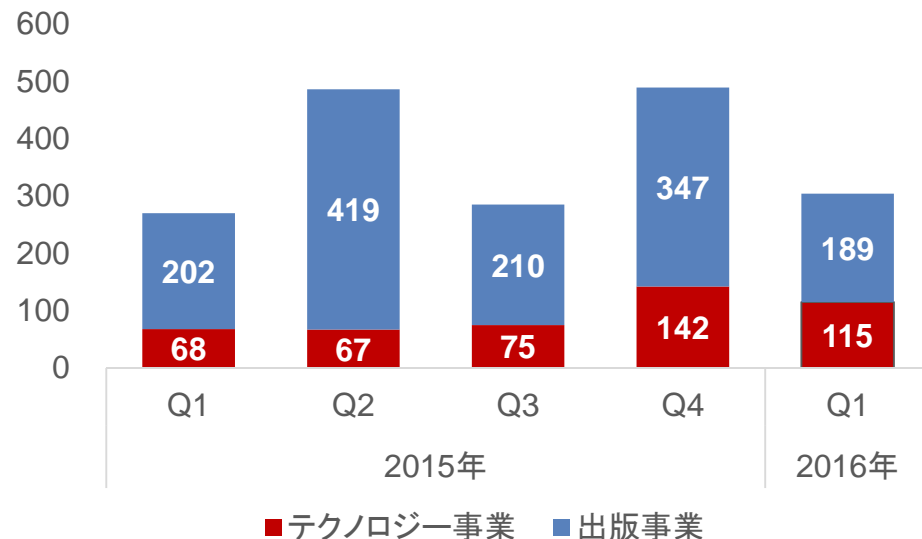
(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期 純利益	EPS(円)
15年12月期 Q1実績(A)	271	△650	△656	△629	—
16年12月期 Q1実績(B)	305	△369	△375	△375	—
増減額(B-A)	+34	+281	+ 281	+ 254	—
増減率(%)	+12.5%	—	—	—	—

出版事業は期ずれ等の影響のため減収もテクノロジー事業が大幅に増収
 前期からのコスト削減効果で営業利益も+281百万円改善
 受注残高は、前年同期10百万→113百万円と大幅改善

2016年12月期Q1売上高セグメント推移



単位：百万円



(単位：百万円)	2015年	2016年	増減率
	Q1	Q1	
テクノロジー	68	115	+69.1%
出版	202	189	▲6.4%
(売上高合計)	271	305	+12.5%

テクノロジー事業：

IoT開発案件の売上計上により、前年比プラス(+69.1%)で大幅に増加

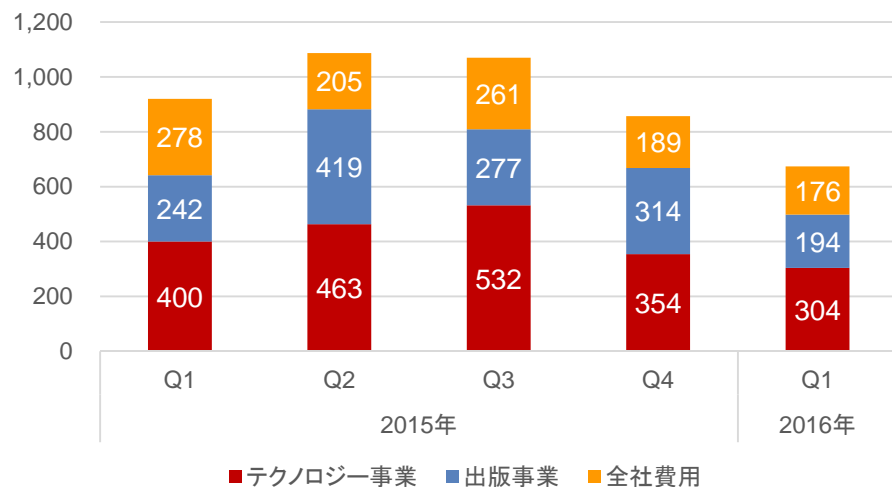
出版事業：

期ずれ等の影響により前年比マイナス(▲6.4%)となったが、ほるぷ出版の
 図書がQ2に青少年読書感想文全国コンクールに選定されたこともあり
 Q2以降は回復の見通し

2016年12月期Q1営業費用セグメント推移



単位：百万円



(単位：百万円)	2015年	2016年	増減率
	Q1	Q1	
テクノロジー	400	304	▲24.0%
出版事業	242	194	▲19.8%
全社費用	278	176	▲36.7%
(営業費用合計)	921	675	▲26.7%

テクノロジー事業：

人件費等の減少で前期以降コスト削減トレンド継続 前年比▲24.0%

出版事業：

売上減少にともなうコスト減 前年比▲19.8%

全社費用：

人件費減、家賃等、コスト削減により全社コスト削減 ▲36.7%

2016年12月期 通期業績予想



(単位:百万円)	売上高	営業利益
2015年12月期 (A)	1,532	△2,406
2016年12月期 業績予想(B)	2,306	△696
増減額(B-A)	+774	+1,710
増減率(%)	+50.5%	—

✓ 期初予想から変更なし

アプリックスの浄水器用IoT技術搭載製品、世界最大手キッチンシンクメーカーが発表（2016年1月20日）

キッチンシンクメーカーの世界最大手のFrankeが、浄水器をInternet of Things化する当社のソリューションを採用した製品を、キッチン・バス業界の世界最大の見本市であるKitchen & Bath Industry Show 2016（KBIS）にて発表しました。



米国大手空気清浄機メーカーが当社のIoTソリューションを採用 (2016年2月29日)

米国大手空気清浄機メーカーのGuardian Technologies LLC(米国オハイオ州)が当社の Internet of Thingsソリューションを採用し、米国で開催された家庭用品業界の大規模展示会International Home + Housewares Showに出展しました。

アプリックス、IoTを活用したペット向けヘルスケアプラットフォームを開発 (16年3月23日)

当社は、IoTを活用してペットの健康管理サービスを実現する基盤となるペット向けヘルスケアプラットフォームを開発し、提供を開始いたしました。また、ペット用の給餌器、給水器、トイレなどのペット用品や外出先からペットの状態が確認できるWi-Fiゲートウェイなど様々な対応製品がペット用品メーカーから相次いで発表され、5月に発売が開始されることとなりました。

■当社のIoTソリューション「SmartPetLink™」を採用したOurPet's社のIntelligent Pet Care™製品群



SmartLink™ Waterer
Intelligent Water Fountain



SmartScoop®
Intelligent Litter Box



SmartLink™ Feeder
Intelligent Pet Bowl



SmartLink™
Tag



SmartLink™
Gateway

補足資料 - Appendix

アプリックス：会社概要



◆ 会社名

アプリックス I Pホールディングス株式会社
[英文表記：Aplix IP Holdings Corporation]

◆ 本社所在地

〒160-0051
東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

◆ 設立年月日

1986年2月22日

◆ 資本金

13,416百万円 [2015年12月末現在]

◆ 売上高

1,532百万円 (連結) [2015年12月期]

◆ 従業員数

132名 (連結) [2015年12月末現在]

◆ 役員

代表取締役 兼 取締役社長	郡山 龍
取締役	長橋 賢吾
取締役	石黒 邦宏
社外取締役	平松 庚三
常勤監査役	根本 忍
社外監査役	新田 喜男
社外監査役	山田 奨

◆ 事業内容

テクノロジー事業
出版事業

◆ グループ会社

株式会社アプリックス
フレックスコミックス株式会社
株式会社ほるぷ出版
Aplix Corporation of America
Aplix Ireland Limited
アプリックスIPパブリッシング株式会社 他

マネジメントチーム



郡山龍（代表取締役CEO）

早稲田大学理工学部在学中にマイクロソフト社入社。1986年ソフトウェアの開発を目的として、(株)アプリクス設立CD-ROM書き込み装置、CD-I、DVI関連システムなどを開発する。1997年に発表した家電等の組み込み向けのJavaプラットフォーム「JBlend」は、世界中の家電、携帯電話に組み込まれ、世界シェア3割まで拡大、2003年、アプリクスを東京証券取引所マザーズ株式上場に導く。現在は、「IoTを実現する技術」で新しいビジネスモデルを開拓。

石黒 邦宏（取締役CTO）

北海道大学農学部を卒業後、株式会社SRA、ネットワーク情報サービス株式会社を経て、株式会社デジタル・マジック・ラボでUNIXソフトウェアの開発、インターネット経路制御の運用に関わり、オープンソースウェアで経路制御を実現するGNU「Zebra」を開発。そして、「Zebra」をベースにした商用ソフトウェアである「ZebOS」を開発・販売するために、1999年10月、米国にてIP Infusionを創業。「ZebOS」は、世界中のルーターやスイッチメーカーに採用。元ACCESST取締役CIO

長橋 賢吾（取締役CFO）

慶應義塾大学環境情報学部卒業。同大学院政策・メディア研究科修了、2005年東京大学大学院情報理工学研究科修了。博士（情報理工学）。英国ケンブリッジ大学コンピュータ研究所訪問研究員を経て、2006年日興シティグループ証券（現、シティグループ証券）にてITサービス・ソフトウェア担当の証券アナリストとして従事後、2009年3月フューチャーブリッジパートナーズ株式会社設立。2015年3月アプリクスIPホールディングス（株）取締役・CFO・チーフエコノミスト。

創業から上場までの製品

1986年：創業
2003年：上場

NeXT Computer System用の
アプリケーションソフトを発売した
最初の日本企業



CD-ROM オーサリングツール



WinCDR 6.0
Premium Package



DOS/V POWER REPORT Magazine
RECOMMENDED Product (GOLD
Prize)(Feb, 2001)

Logitec
CD-R/RW Drive for
Macintosh & Windows
LCW-R6406U



DOS/V magazine 2000/8/15
Technical Test Labs
Tester's Choice & Observer's
Choice



Panasonic
CD-R/RW Drive for USB Interface
LK-RW7585UZ



IBM
Aptiva Series



SONY
Portable CD-R/RW Drive
CRX76A / CRX76U

カーナビゲーションシステム



コンシューマ製品向けJava



Sony Electric
Digital Photo Album
DIMA-100



Sony Digital photo printer
DPP-SV88



Sony
digital video camera
MD-DISCAM
DDMH1



Pioneer Digital STB for CATV
BD-V500



Sony Electric BS/CS Digital TV

Powered by



Sony
Electric POS Terminal
M8C-V100



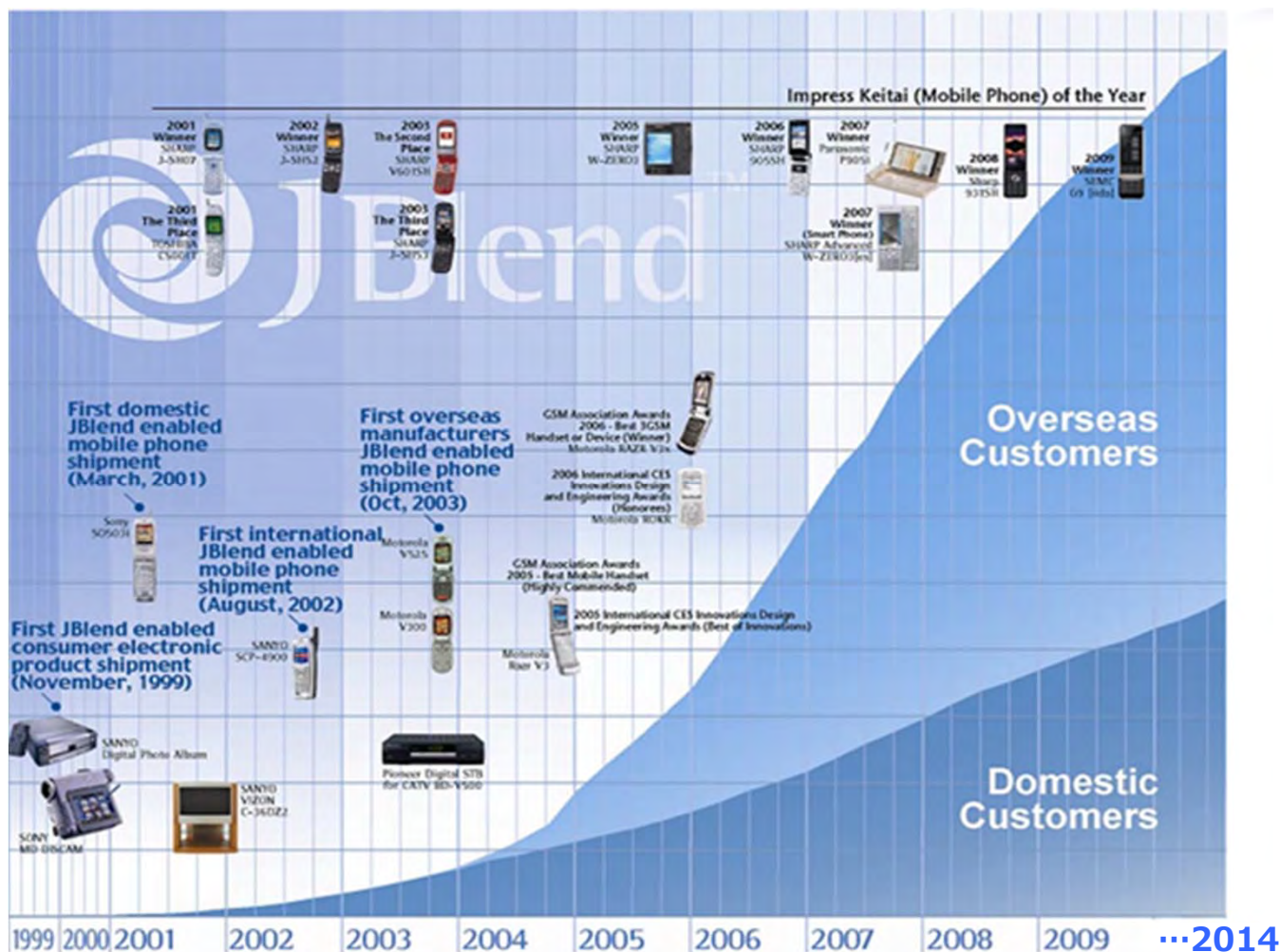
RFU
Java based palm
size computer
BossaNova



Nissan/Sony
Car
navigation
system
H8760C-A

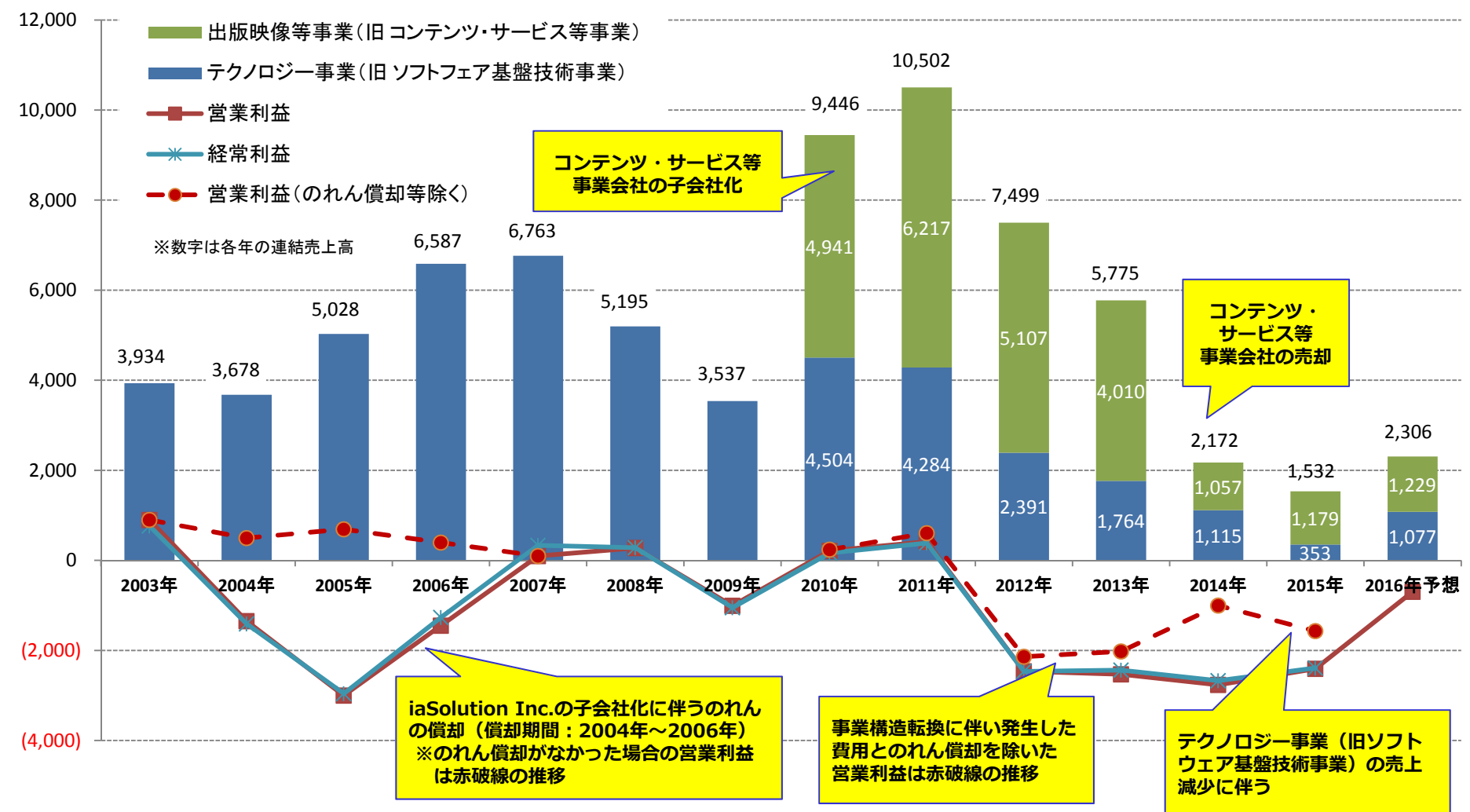
JBlend : 8億台以上の出荷実績

全世界で8億台（2014年末時点）を超える携帯電話にアプリックスの技術が搭載・出荷されています。
 JBlendは、アプリックスが株式上場する直接的な原動力となった技術です。



旧来事業の整理を完了して、IoTスタートアップ企業として再スタート

(単位:百万円)





アプリックスIPホールディングス

IoT事業
IoTビジネス



IoTモジュール

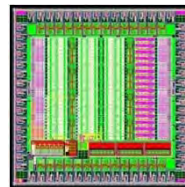


アプリ

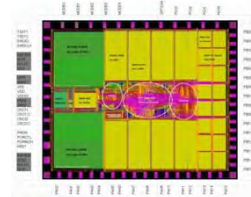


クラウドサービス

SoC事業
IoT向け半導体
開発・製造



アナログチップ
試作



デジタルチップ
試作

特許事業
IoT特許の管理

ビーコン関連
特許40件
(システム、
アプリ、認証
サービス)

出版事業
絵本・児童書



コミック



Aplix



アプリックスIPホールディングス株式会社

<http://www.aplix-ip.com/>

株式会社アプリックス

<http://www.aplix.co.jp/>

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。